

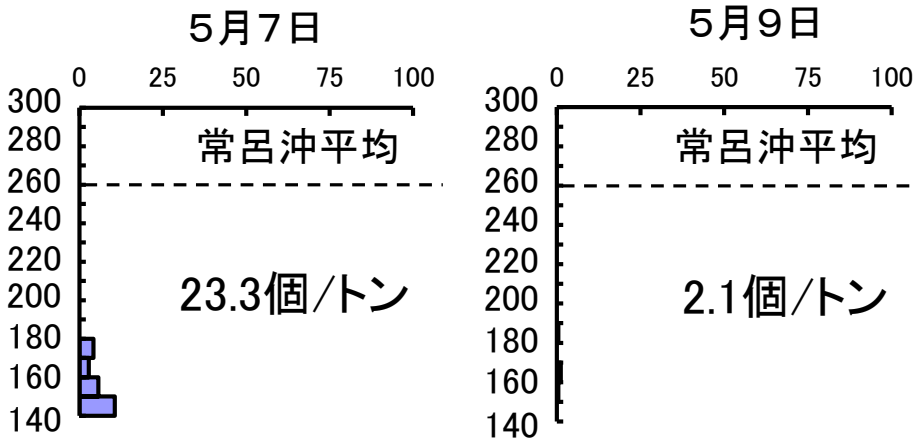
◎外海ラーバ調査（常呂漁協による調査）

調査の結果、常呂漁港沖で2.1個/トンのホタテガイラーバが確認され、前回よりも減少していました。サイズは150~170 $\mu\text{m}$ の小型個体が中心で、260 $\mu\text{m}$ 以上の付着サイズは見られませんでした。

水温は常呂漁港沖底層で6.6 $^{\circ}\text{C}$ で、サンプル海水は依然として植物プランクトンによる濁りが見られました。

湧別と佐呂間の調査は時化のため10日（金）に延期しました。

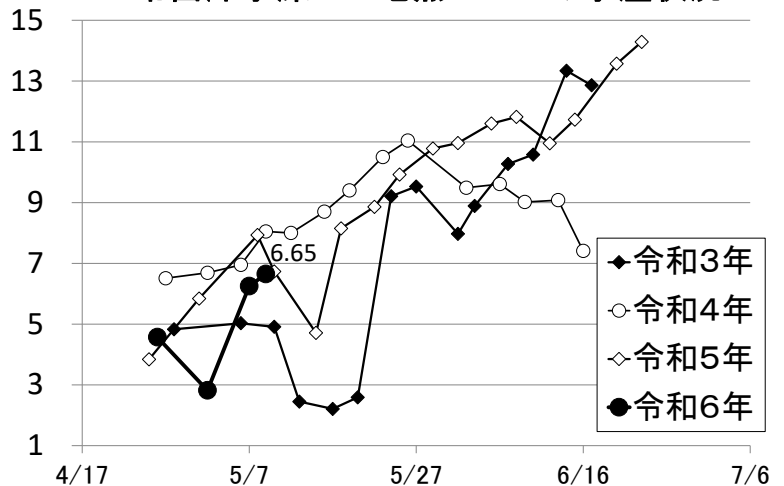
	常呂漁港沖
140 ~ 150	0.0
150 ~ 160	0.5
160 ~ 170	1.2
170 ~ 180	0.0
180 ~ 190	0.5
190 ~ 200	0.0
200 ~ 210	0.0
210 ~ 220	0.0
220 ~ 230	0.0
230 ~ 240	0.0
240 ~ 250	0.0
250 ~ 260	0.0
260 ~ 270	0.0
270 ~ 280	0.0
280 ~ 290	0.0
290 ~ 300	0.0
合計	2.1
200 $\mu\text{m}$ 以上	0.0 0.0%
260 $\mu\text{m}$ 以上	0.0 0.0%
イガイ	0.0



外海水温（水深20m地点）

水深	常呂漁港沖
0m	6.32
5m	6.54
10m	6.63
15m	6.65
底	6.62

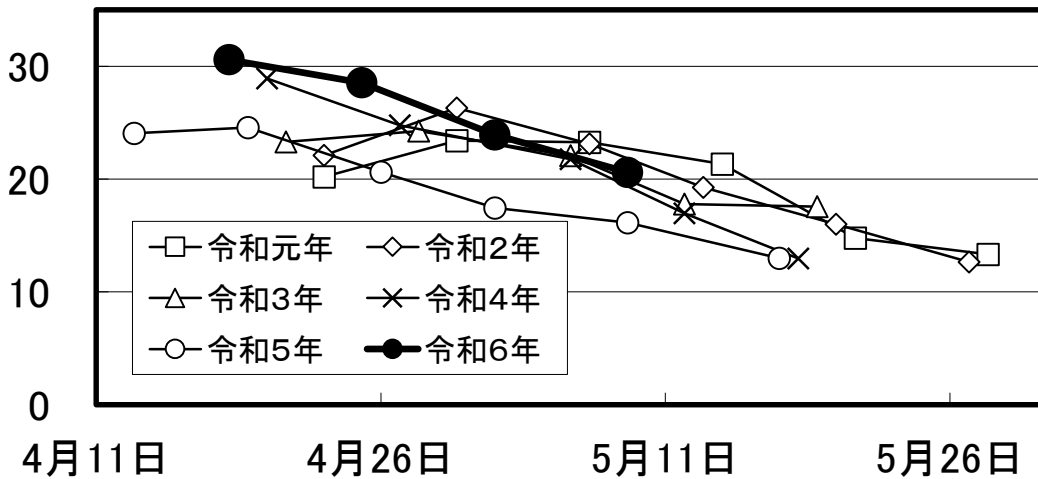
常呂沖水深20m地点 -15mの水温状況



◎生殖巣熟度調査

9日に養殖ホタテガイの生殖巣熟度調査を行いました。その結果、養殖員の生殖巣熟度指数(軟体部に占める生殖巣の割合)は先週の23.9%から20.6%に低下していました。次回の調査は14日(火)に実施予定です。

養殖員平均



◎他地区の情報 (水産技術普及指導所提供)

・浮遊幼生(ラーバ)調査

苫前 5/7 出現数: 20.9 個/トン サイズ: 170~180 μm中心

遠別 5/7 出現数: 60.2 個/トン サイズ: 160~180 μm中心

雄武 5/7 出現数: 33.3 個/トン サイズ: 150~180 μm中心

紋別 5/7 出現数: 75.7 個/トン サイズ: 130~170 μm中心

5/7 オホーツク海沿岸水温(°C)

水深(m)	雄武		紋別
	20m地点	25m地点	20m地点
0	7.38	7.38	7.09
5	7.40	7.40	7.09
10	7.41	7.41	7.10
15	7.41	7.41	7.10
20	7.45	7.41	7.11
25		7.45	